

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ・特集「今、子どもたちとどう向き合う」
- ・週末こどもひろばを開催
- ・オーストラリア海外派遣研修
- ・放課後児童クラブ実費負担金返還について
- ・8月・9月定例教育委員会報告
- ・就学時健診のご案内
- ・ミニバレーウィンターリーグ中止のお知らせ
- ・図書室だより
- ・放課後児童クラブの現場から

定池祐季先生に聞きました

今、子どもたちとどう向き合う

北海道胆振東部地震からまもなく2カ月。今後、被災した子どもたちに保護者や地域の大人はどう向き合っていけばよいのでしょうか。被災時の心のケアに詳しい東北大学災害科学国際研究所助教の定池祐季さんにお話を伺いました。

Q、震災を経験した子どもたちに、保護者を含めた地域の大人ができることやその心がけを教えてください。

A、大人は普段どおりに子どもたちを受け止め、見守ることが大切です。被災した子どもたちには、子ども返りや眠れないなどの変化が見られることがあります。そのような行動は当たり前にかかるものです。一挙手一投足をみやみに心配するよりも、どっしり構えて受け止めてあげる姿勢が大切です。いつもよりもスキンシップを増やしたり、子どもたちをぎゅっと抱きしめるのも安心感を与えるために有効です。

Q、子どもの様子が特に気になる時は…

A、子どもたちは恐怖の反動として暴力的な行動をとることもあります。その際はスポーツや創作など別の手段でエネルギーを発散させてあげることが大切です。大人数で取り組めるものにチャレンジして達成感を得ることも有効です。

Q、子どもたちを支える大人自身も被災者です。皆さまにメッセージをお願いします。

A、災害時には大人も動揺して当然です。怖いのは大人も子どもも一緒です。寝る場所にはそばに何も置かないようにするなど、小さなことから一つずつ備えることで、安全性と同時に心の安心感を得ることができます。その積み重ねを大切にしてください。

週末こどもひろば ~ハッピースターランド~ を開催しています!

教育委員会では、子どもたちが安心してのびのびと過ごせる居場所として9月22日(土)からの休日にあつまスタードーム裏の敷地で「週末こどもひろば」を開催しています。こちらでは、職員や地元ボランティアの方々をはじめ、様々な民間団体の協力を得て、川での魚捕りやまき割り体験、工作や昔遊びなどのブースが用意され、子どもたちは楽しく充実した時間を過ごしています。温かい飲み物の提供やハンドマッサージなどの体験も行われ、子どもだけではなく大人もほっと一息つける空間となっています。



オーストラリアで最高の夏！ ホームステイや現地学校で交流

町教育委員会主催の中学2・3年生を対象とする平成30年度中学生海外派遣研修が8月7日～12日の日程で行われ、厚南中学校・富田律子校長を団長とする、厚真中8名、厚南中7名、引率2名の計18名の派遣団がオーストラリアを舞台に、これまで学んできた英語を駆使し、生涯忘れることのできない様々な経験を積んできました。

日常生活を送るうえで必要な英会話の学習や、在札幌オーストラリア領事の講話などが含まれた事前研修4回を経て、目の前の海外派遣研修にしっかりと備えてきた子どもたち。

出発式では、生徒ひとりひとりから研修に向けた抱負が述べられました。代表の大藏芽瑠さん（厚南中3年）は、「自分の意思をうまく伝えることができれば」と力強く抱負を語りました。



派遣団は、5泊6日の日程でホームステイや現地の学校で同世代の子どもたちとの交流を行い、書道や羽子板、コマなどの日本文化を紹介するなど、積極的に交流を図りました。

現地校では、数学や理科の授業を経験し、本場の英語のスピードに困惑する姿も見られた一方、体育の授業になると、国境を越えて野球やバドミントンを笑顔で楽しんでいました。



生涯忘れることのない感動と驚きを人生の糧に

放課後児童クラブ実費負担金返還

胆振東部地震に伴う放課後児童クラブ実費負担金について実費負担金返還申出書は**期日厳守で提出**をお願いします。

◆返還の内容

- ・厚真地区…9～10月分の実費負担金
- ・上厚真地区…9月分の実費負担金

◆返還対象（以下の全てを満たす方）

- ・厚真地区
 - ①平成30年9月1日、10月1日時点で厚真児童クラブに登録していた児童の保護者
 - ②9月分・10月分の児童クラブ実費負担金を既納していた保護者
- ・上厚真地区
 - ①平成30年9月1日時点で上厚真児童クラブに登録していた児童の保護者
 - ②9月分の児童クラブ実費負担金を既納していた保護者

◆手続内容

- ①提出いただく書類
 - ・「胆振東部地震に伴う厚真・上厚真放課後児童クラブ実費負担金返還9月・10月分申出書」
 - ・振込先の通帳のコピー 1枚
※9月・10月で異なる振込先の場合は2枚
※指定の口座がご本人の名義でない場合は、「委任状」も提出

◆返還方法

申出書の記載内容に基づき、指定口座に返還

◆提出期限

平成30年10月31日(水)

◆提出先

生涯学習課社会教育グループ又は上厚真支所

◆お問い合わせ

教育委員会社会教育グループ
☎27-2495

8月・9月定例教育委員会議事内容報告

8月30日、9月27日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

(8/30)平成30年度中学生海外派遣研修事業出発式及び海外派遣本研修について、平成30年度厚真町教育フォーラムについて、厚真町教育委員会外部評価委員会について、子ども教育委員会について、児童生徒芸術鑑賞会について（ほか15件）

(9/27)学校施設・学校給食センターの被災状況と今後の見通し、社会教育施設の被災状況と今後の見通し

◆議案

(8/30)教科用図書採択地区の変更について、平成31年度使用教科用図書の採択について（ほか1件）

(9/27)厚真町教育委員会事務局職員の人事について

◆協議事項

(8/30)教育委員会の活動状況に関する点検・評価について

(9/27)平成30年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

★問合せ

教育委員会学校教育グループ
☎27-2494

新入学児童健康診断のお知らせ

平成31年度に小学校へ入学する町内の児童を対象に健康診断を実施いたしますので、必ず受診するようにお願いします。

◆厚真中央小学校への入学予定者

実施日 11月5日【月】
12時50分～13時00分受付

会場 厚真中央小学校

◆上厚真小学校への入学予定者

実施日 11月6日【火】
13時00分～13時10分受付

会場 厚南中学校（会場の都合により）

※例年と場所が変更になりますので
お間違えのないようお願いしま
す。

◆受診項目 身長、体重、内科、歯科、視力、聴力、知能検査

◆対象 平成24年4月2日から平成25年4月1日に生まれたお子さん

◆問合せ 教育委員会学校教育グループ
☎27-2494

ミニバレーウィンターリーグ中止のお知らせ

11月25日（日）に開催を予定していました標記の大会については、9月6日に発生した胆振東部地震の影響で大会会場であるスポーツセンターが避難所となっています。

現時点で避難所の閉所の目途が立っていないことから、今年の大会は中止とさせていただきますので、お知らせします。

大会を楽しみにしていた皆さんには大変申し訳ありませんが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。（社会教育グループ）

【お知らせ】

知能検査の時間中に、新入学児童の保護者を対象とした子育てに関するセミナーを開催します。ぜひご聴講ください。（社会教育グループ）

図書室だより

厚真町青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

震災の日、その後の図書室の活動について

2018年9月6日に発生しました胆振東部地震につきまして、被害に遭われた皆様におかれましては心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

このたびの地震では、厚真町青少年センター図書室、厚南会館図書室も被害にあいました。6日朝、厚真町青少年センター図書室へ駆けつけると、9割近い本が書架から落下し、通路に飛散していました。

また、人力では動かせないような重さの書架も所定の場所からずれており、今回の地震の恐ろしさを思い知らされました。一部機材に被害があったものの、教育委員会職員、近隣市町村からの応援職員の手を借りながら図書室の復旧作業を進めることができ、厚真町青少年センター図書室は10月1日に再開することができました（厚南会館図書室は保守点検があり10月3日に再開）。復旧作業にあたっては、北海道立図書館や図書館家具メーカー、近隣市町村図書館の方からも多くのご支援をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

図書室復旧の一方、避難所への図書の貸出、移動図書室などの活動も行ってきました。復旧作業と並行して普段とは異なる図書室外での活動も多かったのですが、いつも通りに笑顔で本を借りに来てくれる上厚真小学校の児童、ともいき荘の方々の姿に私たちも大変勇気づけられました。ご自身の方が大変なのに、「頑張りすぎないでね」などと声をかけていただいたときは大変励みにもなりました。

この生涯学習だよりが発行されるころは雪の便りも届き始めるころかと思います。自分では気づかぬうちに災害によるストレスや疲れがたまっていることもありますので、どうぞお体を大事になさってください。そして、ちょっとした気分転換にぜひ図書室へお越しください。

借りていた本が震災の影響で 紛失した利用者の方へ

まずはカウンターへお申し出ください。特にご連絡がない場合は、お手元に本があり貸出継続中と判断させていただきます。北海道立図書館の本の場合は先方へお知らせしなければなりませんので、必ずご連絡ください。

自分が借りていた本がわからなくなった場合もカウンターで照会できますので、お申し出ください。

創作館所蔵資料の 利用制限について

創作館で所蔵している資料については資料の整理が間に合わず、閲覧のお申込みをいただいてもすぐにお出しすることが難しい場合があります。場合によっては他図書館の資料をご案内することもありますのでご了承ください。

青少年センターから11月のお知らせ

プラネタリウム 11月10日(土)から再開

地震により中止していたプラネタリウムの投影を11月10日(土)から再開いたします。

●投影日時

- ・毎週火曜日 午後3時30分～
- ・毎週土曜日 午後1時30分～

●投影内容

- ・秋の星座解説
- ・エコとロジーのわくわく太陽系めぐり

お問い合わせ：教育委員会社会教育グループ ☎ 27-2495



新着図書紹介



今月は本のタイトルのみ
紹介いたします。

文芸書

- ・日傘を差す女 伊集院静/著
- ・送り火 高橋弘希/著 (159回芥川賞)
- ・絵金、闇を塗る 木下昌輝/著
- ・波動 吉川英梨/著
- ・誘拐の免罪符 浜中刑事の奔走 小島正樹/著
- ・浜中刑事の妄想と激運 小島正樹/著
- ・ミダスの河 柄刀 一/著
- ・幽霊になった女 鳥羽 亮/著
- ・星をつなぐ手 桜風堂ものがたり 村山 早紀/著

児童書

- ・五年霊組こわいもの係 13巻 床丸迷人/作
- ・怪盗レッド 15巻 秋木 真/作
- ・龍神王子(ドラゴンプリンス)! 13巻 宮下 恵菜/作
- ・若草物語 (100年後も読まれる名作9) オルコット/原作



実用書

- ・くらべる日本 東西南北 おかべたかし/著
- ・バッグをザックに持ち替えて 唯川 恵/著
- ・ひとりサイズで、気ままに暮らす 阿部絢子/著
- ・大人の1泊2日旅北海道 JTB/編
- ・あみぐるみの技法書 日本編みぐるみ協会/編
- ・人気の手編みざぶとん 橋本真由子/著
- ・鉋物のテラリウム・レシピ さとうかよこ/著
- ・回転寿司になれる魚図鑑 松浦啓一/著
- ・誰でも始められるボルダリング 尾川とも子/著
- ・地方発ヒットを生む逆算発想のものづくり 渡辺和博/著

絵本

- ・シカクさん バーネット/作
- ・ぼくがいちばん! すごいでしょ サトシン/作
- ・伊賀のキャベ丸 川端 誠/作



～図書室からのお知らせ～



■ 11月の休館日

3日 (土) 文化の日
23日 (金) 勤労感謝の日

今年度は
休館です!

■ 青少年センター図書室開館時間

午前9時～午後5時 (月・水・金・土・日)
午前9時～午後7時 (火・木)

■ 厚南会館図書室

午前9時～午後5時 (月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は
休館となります。

■ 11月の移動図書

・上厚真小学校
2、9、16、30日(金)、22日(木)
午前10時10分～10時25分

・ともいき荘
16日(金) 午後2時00分～2時30分

■ おはなしのびっ子

場所: 厚真子育て支援センター
22日(木) 午前10時00分～10時30分

＊放課後児童クラブの現場から＊

皆さんご協力ありがとうございます！

放課後児童クラブ、毎日元気にやっています！

9月18日（火）から厚真地区、上厚真地区ともに、各小学校を会場にして放課後児童クラブの臨時的な開設をしました。現在、上厚真地区では厚南児童会館に会場を戻し通常運営を行っていますが、厚真地区は依然として中央小学校で臨時的な開設を続けている状況です。児童クラブ支援員だけでなく、放課後子ども教室のスタッフやボランティアの方々、各小学校の先生方の協力のもと、子どもたちは元気いっぱいにご過ごしています。保護者の皆様におかれましては、普段よりも短い開設時間や毎日の送迎にご理解とご協力をいただきまして、本当にありがとうございます。もうしばらくご不便をおかけいたしますが、引き続きよろしくお祈いします！



子どもたちの笑顔が
あふれる
放課後の時間



全てが生きた
教材になる

小さなことを大切に

～消防士さんの靴とヘルメット～

この写真は、地震が起きたときに厚真町のためにたくさん協力してくれた消防士さんの靴とヘルメットです。消防士さんは、「いつ、何が起きても、すぐ出動できるように整理整頓しています」と、話をしてくれました。靴をそろえる、荷物を整理するというのは、簡単なことですが普段から意識しないとできないことだと思います。やはり小さなことこそ、しっかりと積み重ねていくことが大切なんだと改めて感じました。放課後児童クラブでは、子どもたち自身が「なぜ整理整頓が大切なのか？」をしっかりと考えていけるよう、一緒に生活していきます。

